



# 2022年度 大阪市部活動調査 分析報告資料\_生徒調査：速報版

2022年10月31日（月）

# 分析概要

## 分析対象

「部活動に関するアンケート調査」における生徒回収データより、設問4：現在学校で取組む活動の回答から、複数回答の対象者を除外し、運動部、文化部にて1つの取り組みを行う回答者を分析対象とした。

## 分析内容

- 以下の項目についてクロス集計を行った。
  - 現在の活動状況（平日・休日）と丁度いいと思う活動（平日・休日）のクロス集計
  - 負担感と現在の活動状況（平日・休日の頻度）のクロス集計
  - 負担感と部活動を取り組んだことによる成果のクロス集計
  - 負担感と活動における悩みのクロス集計
  - 活動を活かした進学意図と部活動を取り組んだことによる成果のクロス集計
  - 活動を活かした進学意図と活動における悩みのクロス集計
  - 活動を活かした進学意図と負担感のクロス集計

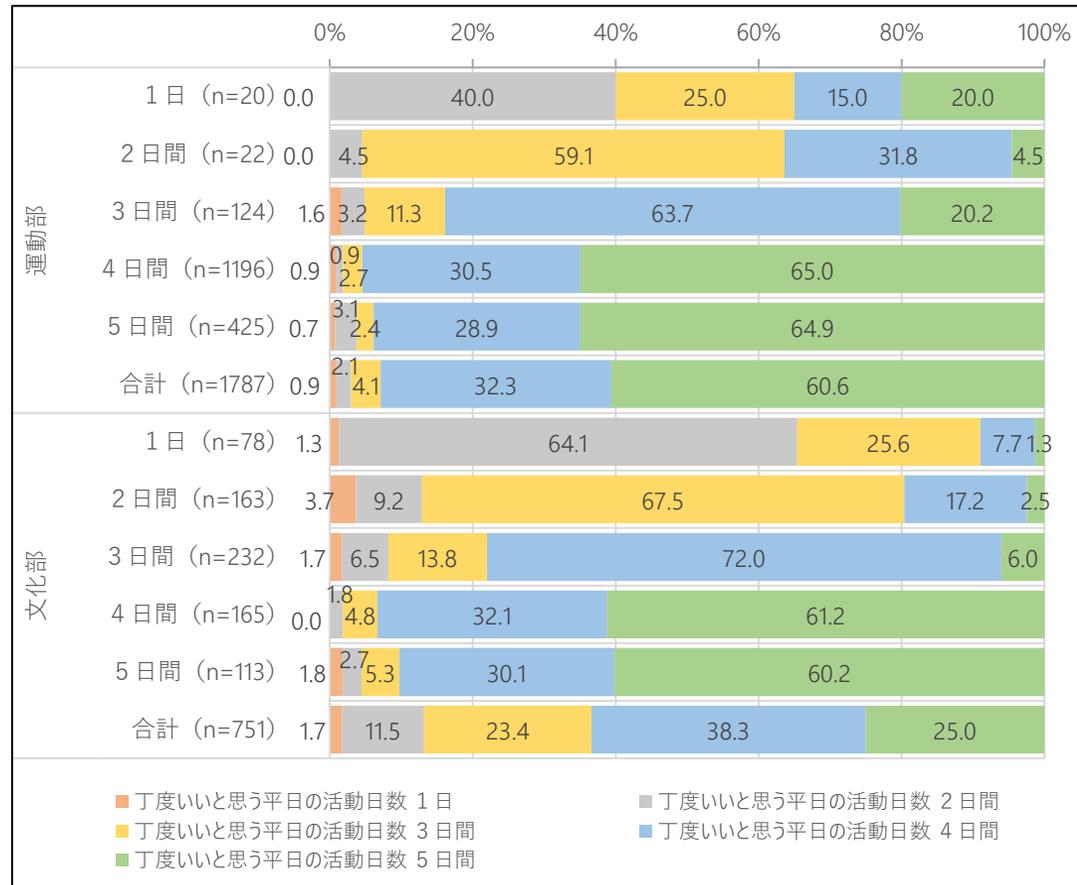
# 分析結果のポイント

- 平日の活動日数および活動時間では、現在の活動と同程度を丁度いいと思う傾向にある。一方、土日の活動頻度（一か月あたり）では、現在「原則毎週活動」と回答した運動部活動の生徒のうち、「毎月3週程度」「毎月2週程度」「毎月1週程度」「原則活動しない」を丁度いいと思う生徒は半数程度存在している。
- 部活動における負担感を「負担を感じる」「とても負担に感じている」生徒では、「今後も現在取り組んでいるスポーツもしくは文化活動を続けようと思う」の肯定的な回答が半数以下である。
- 「現在取り組んでいる活動（部活動／学外活動）で得た成績や実績を生かして、高校や大学に進学したい」に対して「そう思わない」と回答した生徒のうち、「今後も現在取り組んでいるスポーツもしくは文化活動を続けようと思う」の肯定的な回答は6割弱であった。
- 「現在取り組んでいる活動以外に活動してみたい種目がある」、「学年ごと、季節ごとに他の種目の活動に変更してみたい」の項目に対する回答は、活動を活用した進学意図に比べ、負担感において多様な回答の傾向が確認できる。

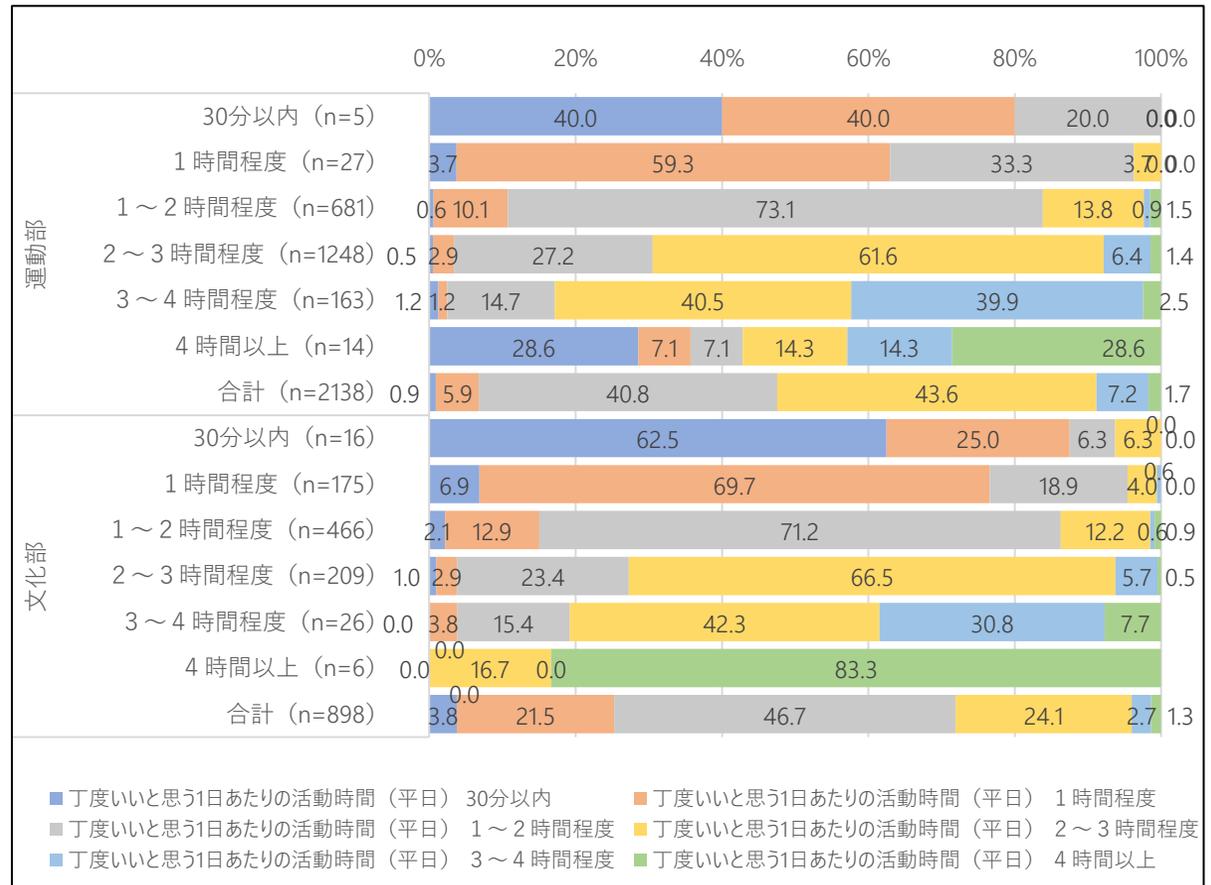
# 現在の活動と丁度いいと思う活動のクロス集計（平日の日数と時間）

- 現在の活動日数が「4日間」「5日間」と回答した人のうち、丁度いい日数を「5日間」と回答したのは60%以上。現在の活動日数が「3日間」と回答した人のうち、丁度いい日数を「4日間」と回答した人は、運動部が63.7%、文化部が72.0%
- 概ね、現在の平日の活動時間と同様の活動時間を丁度いいと回答した割合が最も多い傾向にある。現在の活動時間が3時間以上と回答した人では、同様の活動時間より少ない活動時間を丁度いい時間として回答する割合が増加する傾向にある。

現在の平日活動日数と丁度いいと思う平日の日数とのクロス集計



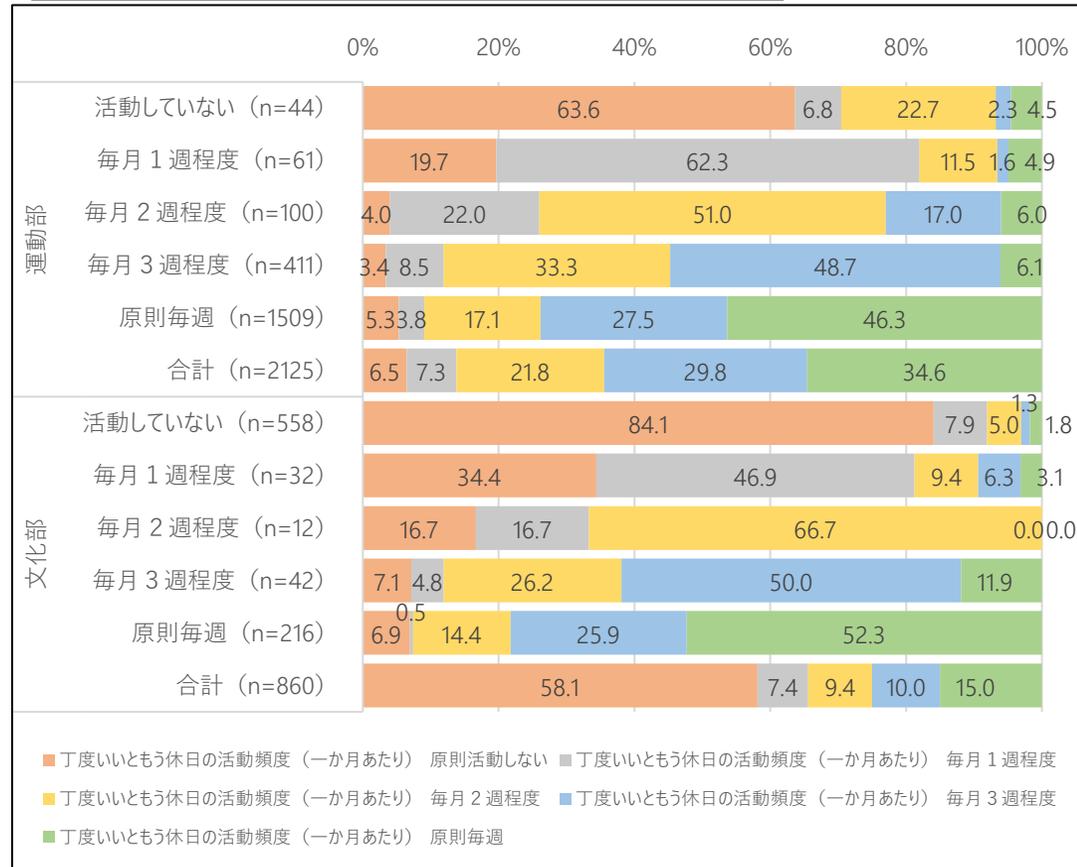
現在の平日の活動時間と丁度いいと思う平日の活動時間のクロス集計



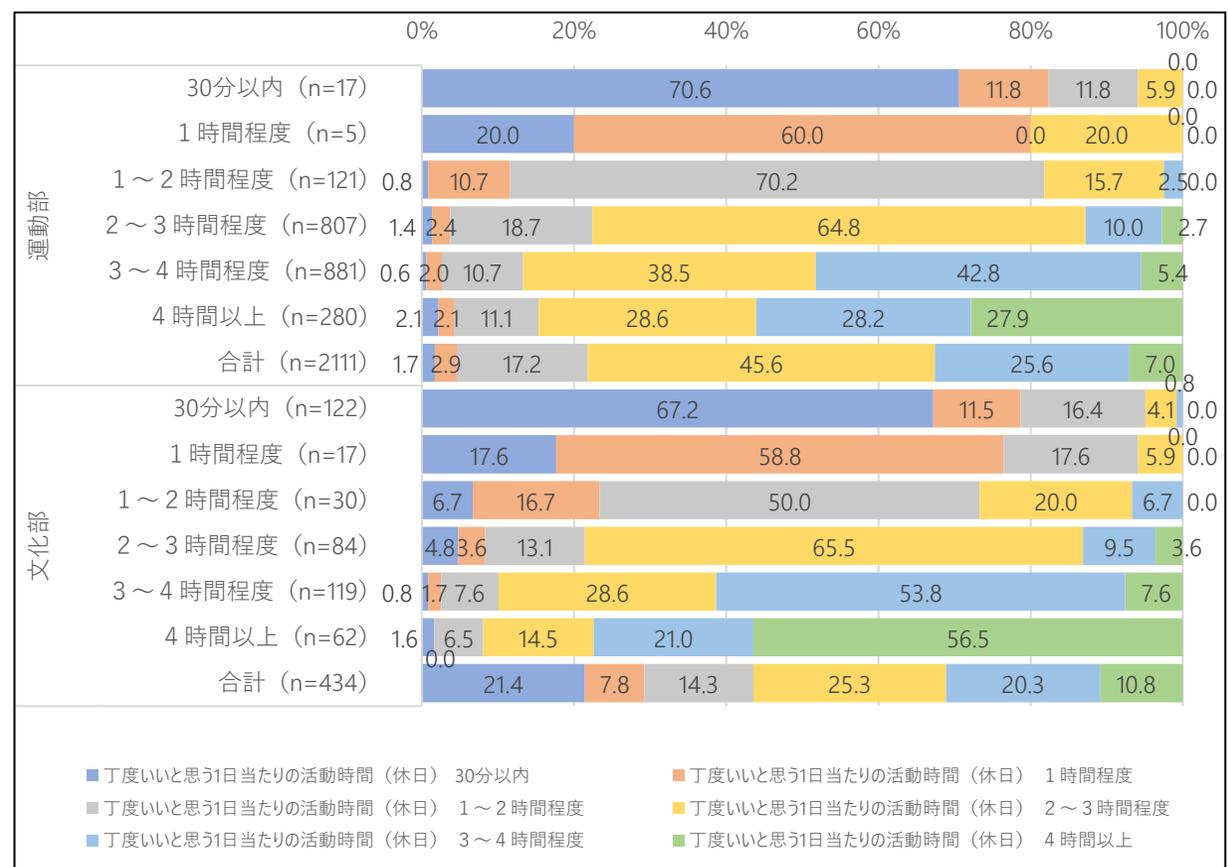
# 現在の活動と丁度いいと思う活動のクロス集計（休日の活動頻度）

- 概ね、現在の休日の活動頻度と同様の活動時間を丁度いいと回答した割合が最も多い傾向にある。一方、現在「原則毎週」活動していたとしても、「原則毎週」活動しないことを丁度いいと思う生徒は半数近く存在する。
- 運動部では、現在3時間以上活動している生徒のうち、丁度いいと思う活動時間を「2~3時間程度」以下とする生徒が一定数存在する。一方、文化部では現在の休日の活動時間が短い傾向にあるが、3時間以上活動している生徒のうち「3~4時間程度」以上を丁度いいとする生徒の割合が運動部より多い。

現在の休日の活動日数と丁度いいと思う休日の頻度とのクロス集計



現在の休日の活動時間と丁度いいと思う休日の活動時間のクロス集計

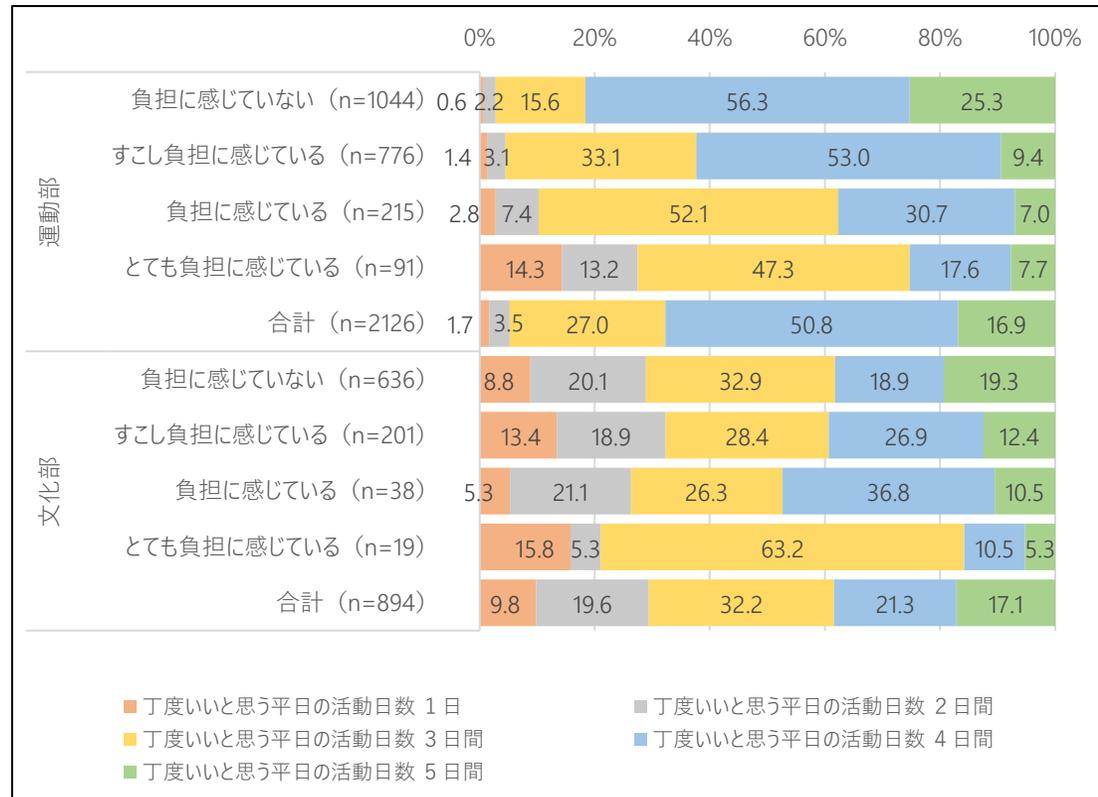


# 生徒調査

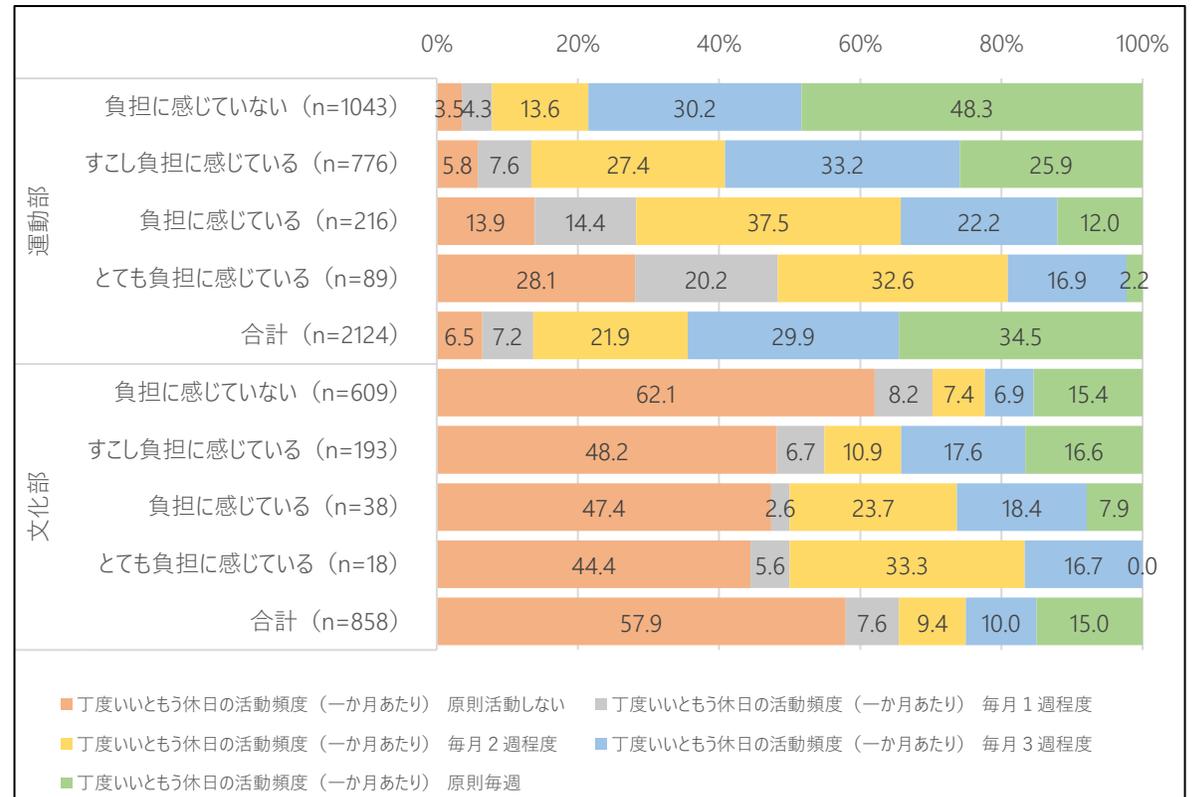
## 負担感と丁度いいと思う活動のクロス集計（平日の活動頻度）

- 運動部では、日々の活動に負担を感じている生徒のうち、丁度いいと思う活動を「5日間」と回答する生徒の割合は10%以下である。運動部と文化部共に、「負担に感じていない」と回答した生徒においても、丁度いいと思う活動を「5日間」未満と回答する生徒の割合は70%を超える。
- 運動部では、日々の活動に負担を感じている生徒のうち、丁度いいと思う休日の活動を「毎月3週程度」以下と回答する生徒の割合は、負担の感じ方が強くなるごとに増加する傾向にある。文化部では、負担の感じ方に関わらず、「原則活動しない」の回答が最も多い傾向にある。

負担感と丁度いいと思う平日の活動日数とのクロス集計



負担感と丁度いいと思う休日の活動頻度のクロス集計

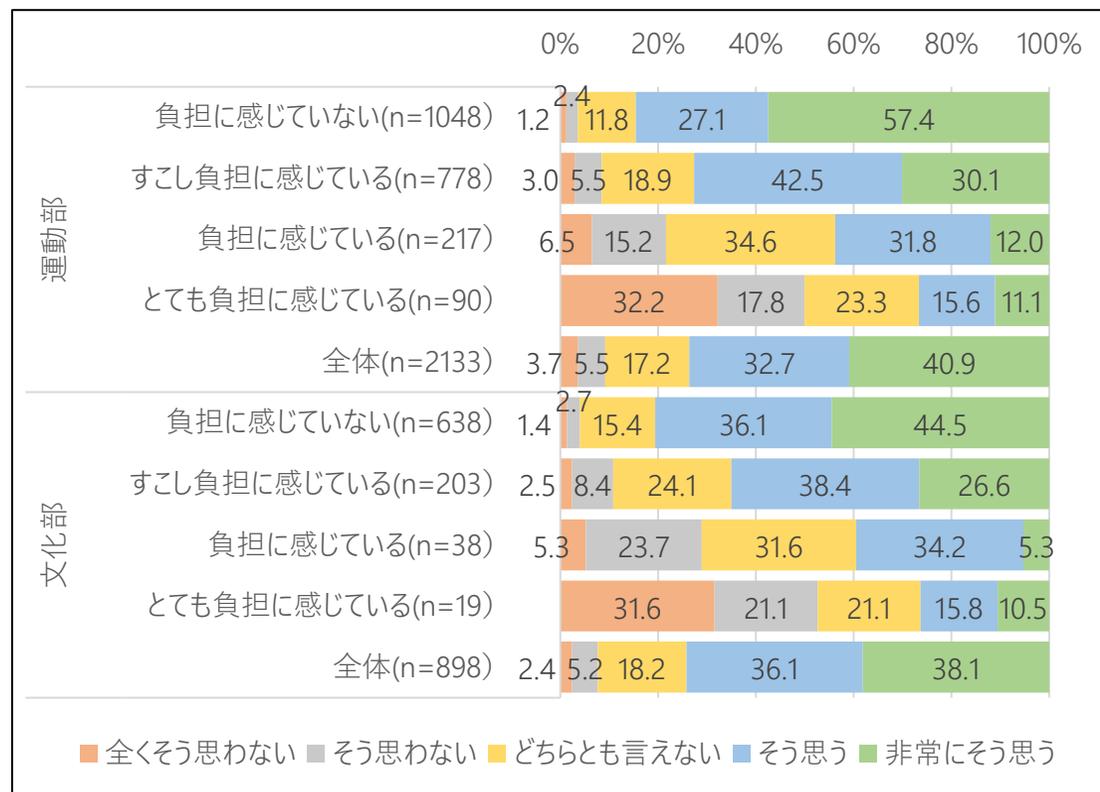


## 生徒調査

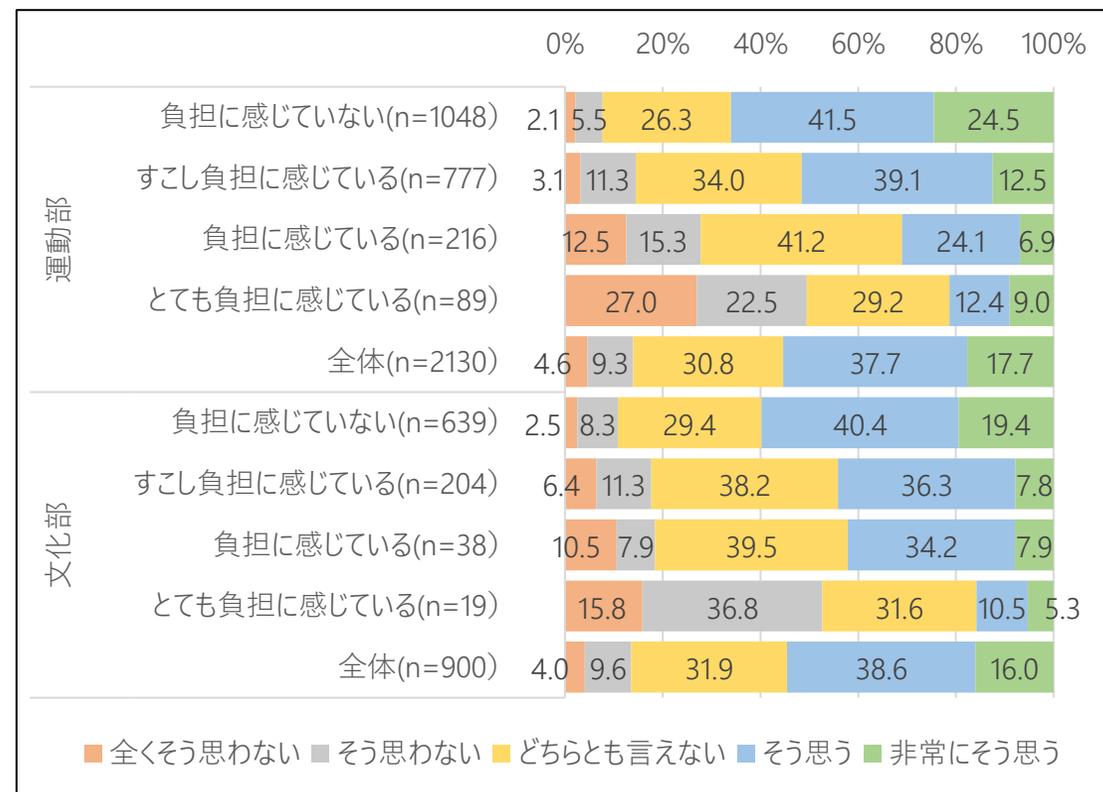
# 負担感と部活動を取り組んだことによる成果のクロス集計

- 運動部では「負担に感じている」と回答した生徒のうち、「今後も現在取り組んでいるスポーツもしくは文化活動を続けようと思う」ことを「そう思う」「非常にそう思う」と回答した生徒の割合は43.8%で、「とても負担に感じている」と回答した生徒では、26.7%であった。文化部では「負担に感じている」と回答した生徒では39.5%、「とても負担に感じている」と回答した生徒では26.3%であった。
- 運動部では「とても負担に感じている」と回答した生徒のうち、「学習にも役立つ力が身についたと思う」ことを「そう思う」「非常にそう思う」と回答した生徒の割合は21.4%であった。文化部では、負担に感じている生徒のうち「そう思う」「非常にそう思う」と回答した生徒の割合は50%未満である。

「ア. 今後も現在取り組んでいるスポーツもしくは文化活動を続けようと思う」とのクロス集計



「キ. 学習にも役立つ力が身についたと思う」とのクロス集計

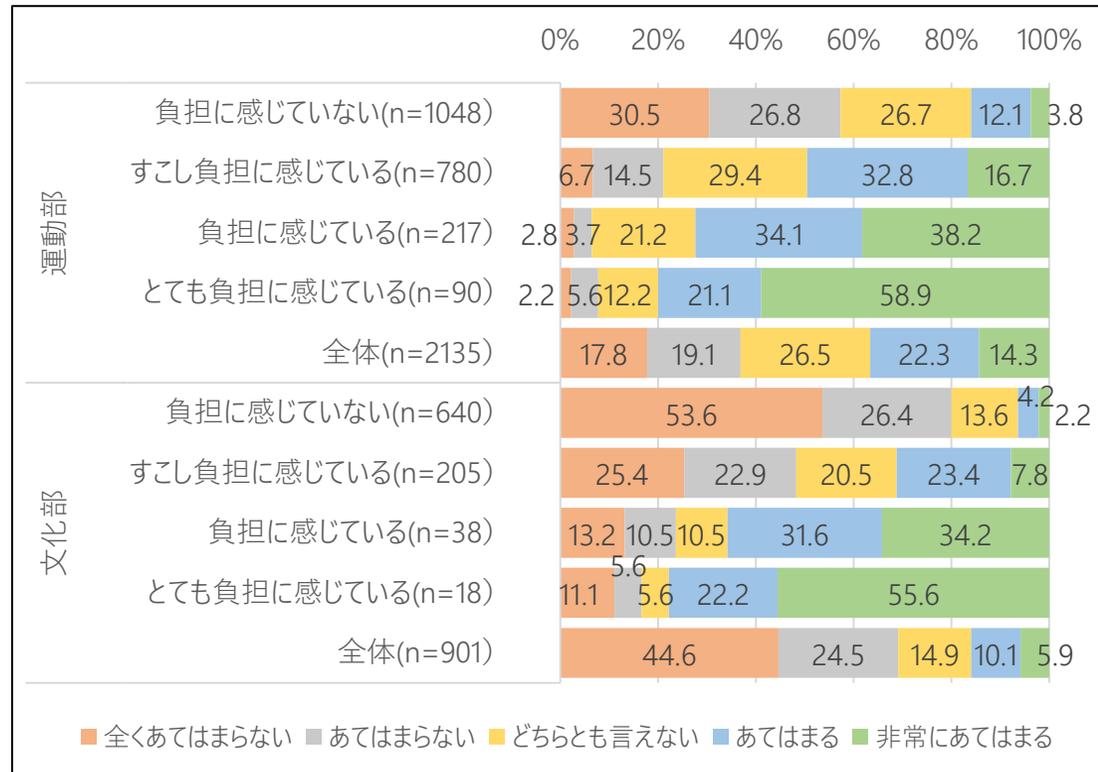


## 生徒調査

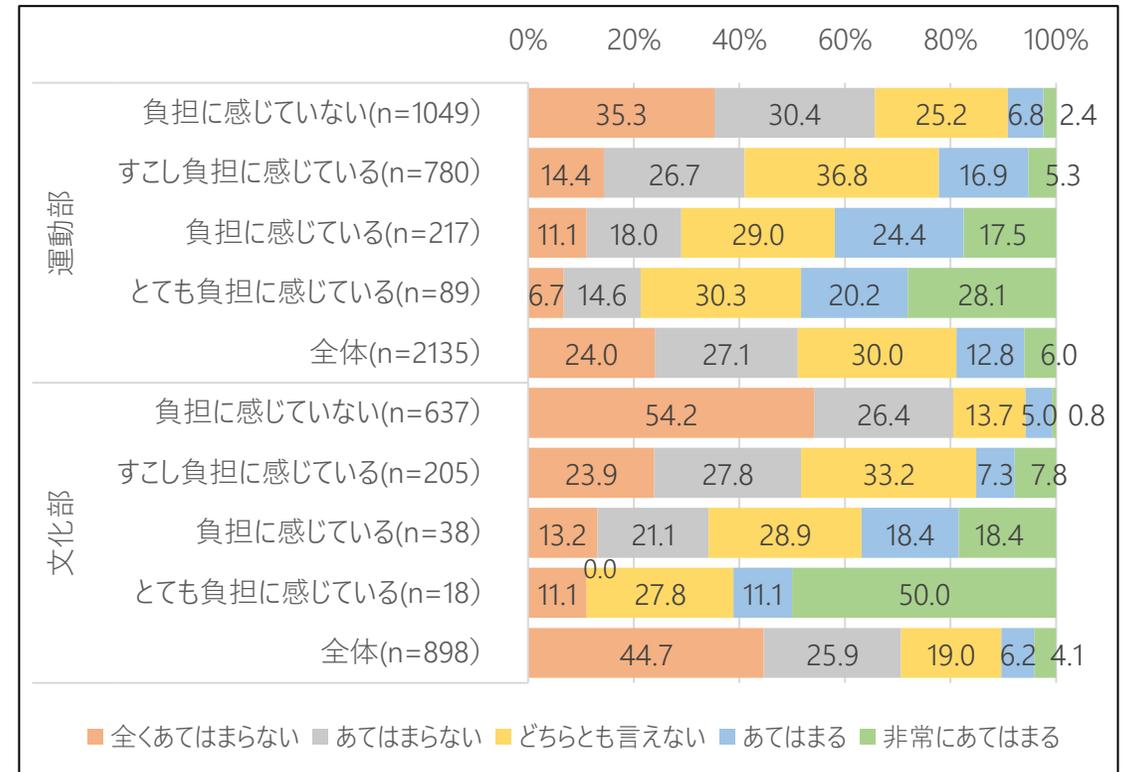
# 負担感と現在取り組んでいる活動の悩みのクロス集計

- 運動部では、「負担に感じている」「とても負担に感じている」以下と回答した生徒のうち、「1週間当たりの休みの日が少ない」ことを「あてはまる」「非常にあてはまる」と回答した生徒の割合は70%を超える。文化部では、「負担に感じていない」と回答した生徒のうち、「全くあてはまらない」と回答した生徒の割合は53.6%であった。
- 運動部では、「負担に感じている」「とても負担に感じている」以下と回答した生徒のうち、「学業と両立できていない」ことを「あてはまる」「非常にあてはまる」と回答した生徒の割合は40%を超える。文化部では、「負担に感じていない」と回答した生徒のうち、「学業と両立できていない」ことを「全くあてはまらない」と回答した生徒の割合は54.2%であった。

「イ. 1週間当たりの休みの日が少ない」とのクロス集計



「チ. 学業と両立できていない」とのクロス集計

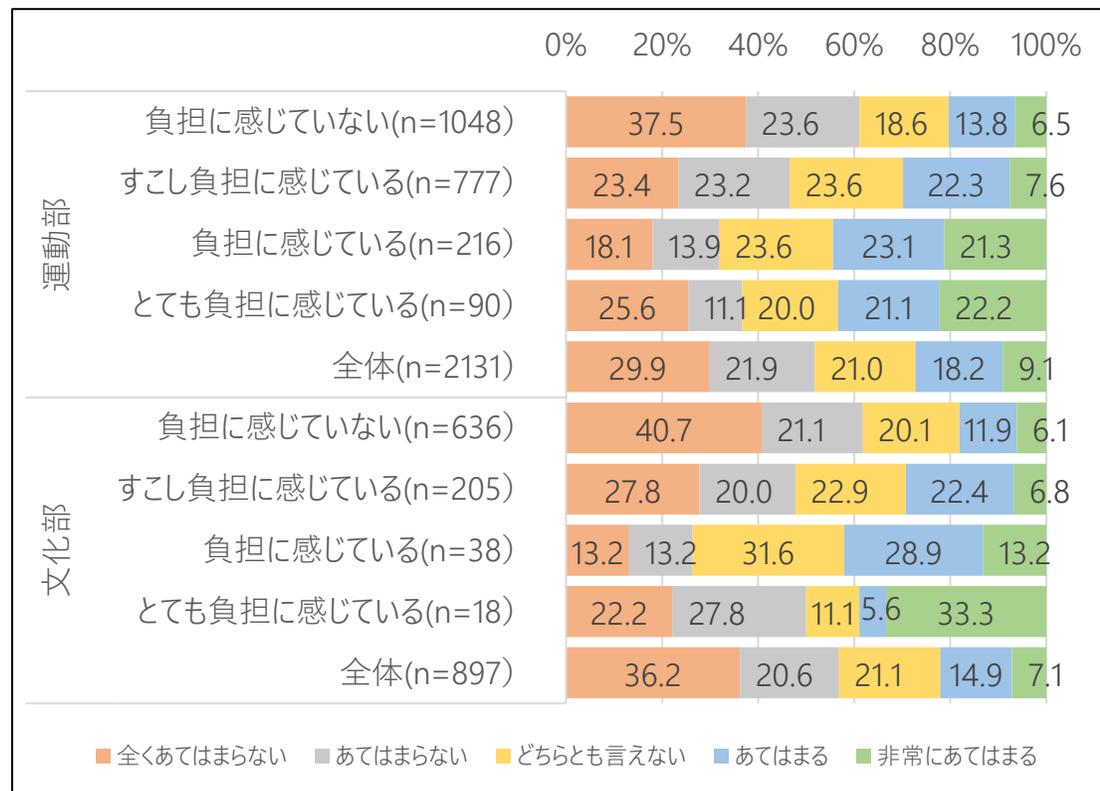


## 生徒調査

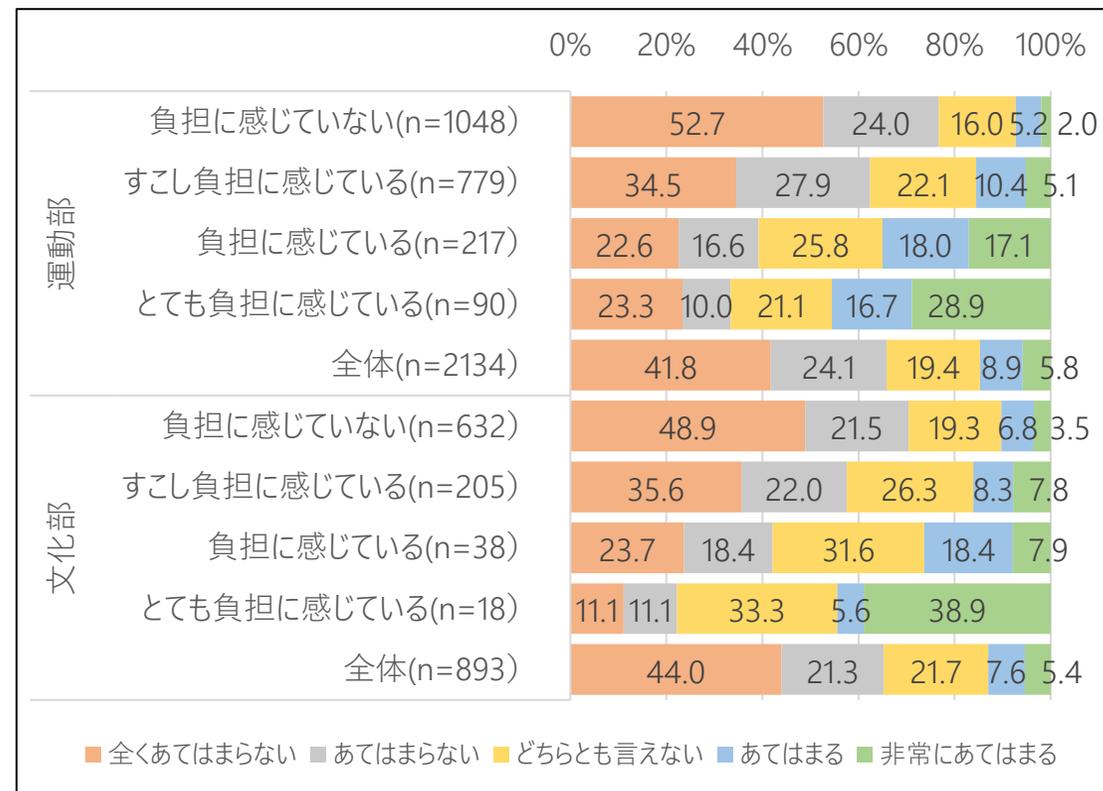
# 負担感と現在取り組んでいる活動の悩みのクロス集計

- 運動部と文化部共に、「負担に感じている」「とても負担に感じている」以下と回答した生徒のうち、「現在取り組んでいる活動以外に活動してみたい種目がある」ことを「あてはまる」「非常にあてはまる」と回答した生徒の割合は40%を超える。
- 運動部では、「負担に感じている」以下と回答した生徒のうち、「学年ごと、季節ごとに他の種目の活動に変更してみたい」ことを「あてはまる」「非常にあてはまる」と回答した生徒の割合は35.1%、「とても負担に感じている」と回答した生徒では45.6%であった。文化部では、「とても負担に感じている」と回答した生徒のうち「あてはまる」「非常にあてはまる」と回答した生徒の割合は44.5%程度である。

【ツ. 現在取り組んでいる活動以外に活動してみたい種目がある】とのクロス集計



【テ. 学年ごと、季節ごとに他の種目の活動に変更してみたい】とのクロス集計

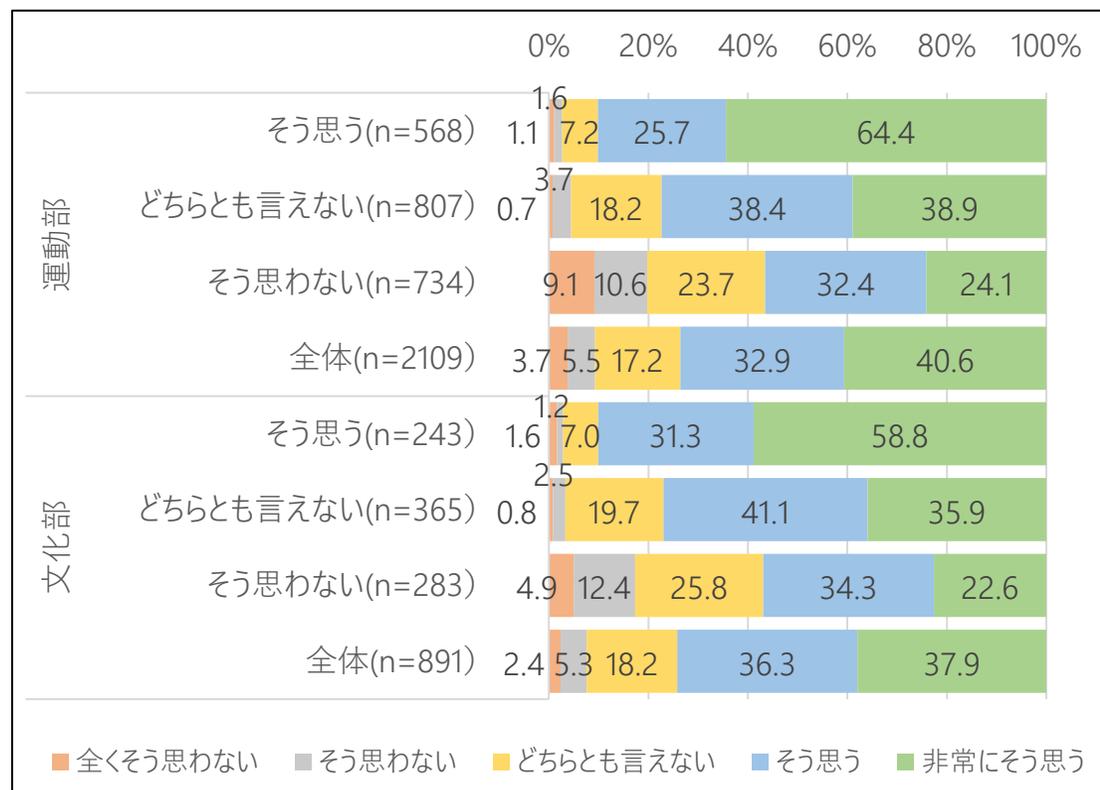


## 生徒調査

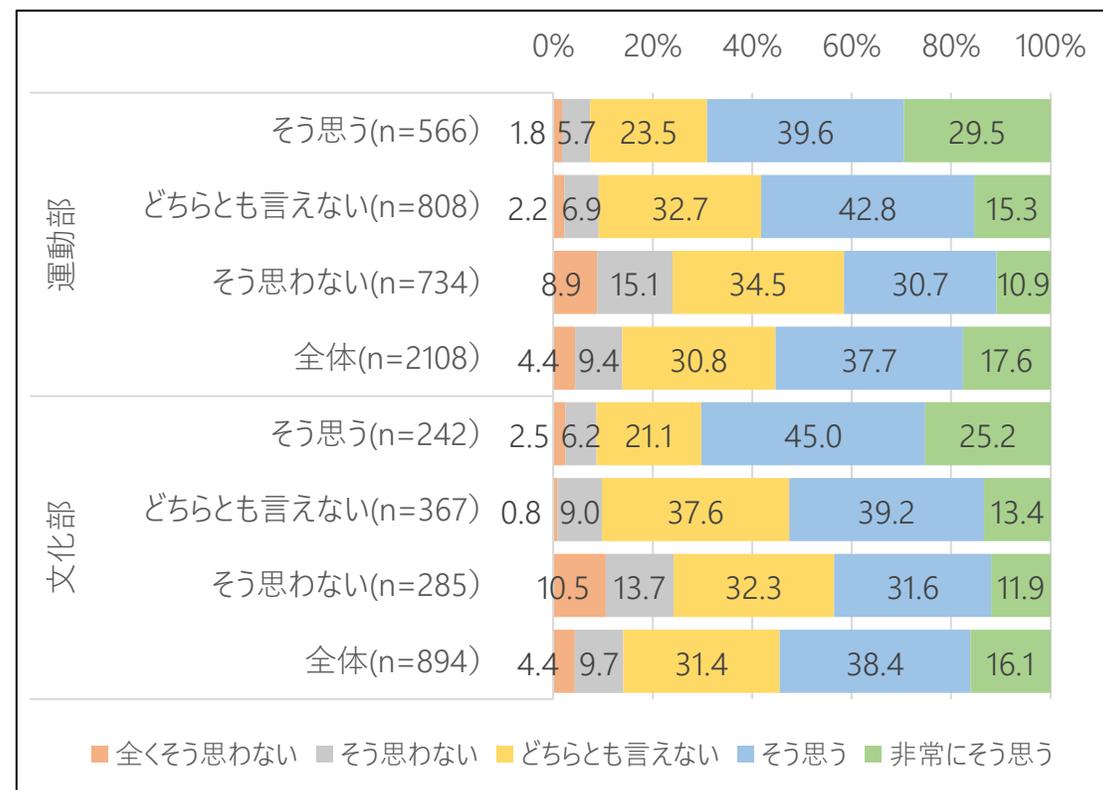
## 活動を活かした進学意図と部活動を取り組んだことによる成果のクロス集計

- 「現在取り組んでいる活動（部活動／学外活動）で得た成績や実績を生かして、高校や大学に進学したい」に対して「そう思う」と回答した運動部の生徒のうち、「今後も現在取り組んでいるスポーツもしくは文化活動を続けようと思う」ことについて「そう思う」「非常にそう思う」と回答した割合が90.1%であるのに対し、「そう思わない」（生かす意図はない）と回答した生徒では56.4%であった。
- 活動を活かした進学意図に「そう思わない」と回答した生徒のうち、「学習にも役立つ力が身に付いたと思う」について「そう思う」「非常にそう思う」と回答した割合は、運動部では41.6%、文化部では43.5%であった。

「ア. 今後も現在取り組んでいるスポーツもしくは文化活動を続けようと思う」とのクロス集計



「キ. 学習にも役立つ力が身に付いたと思う」とのクロス集計

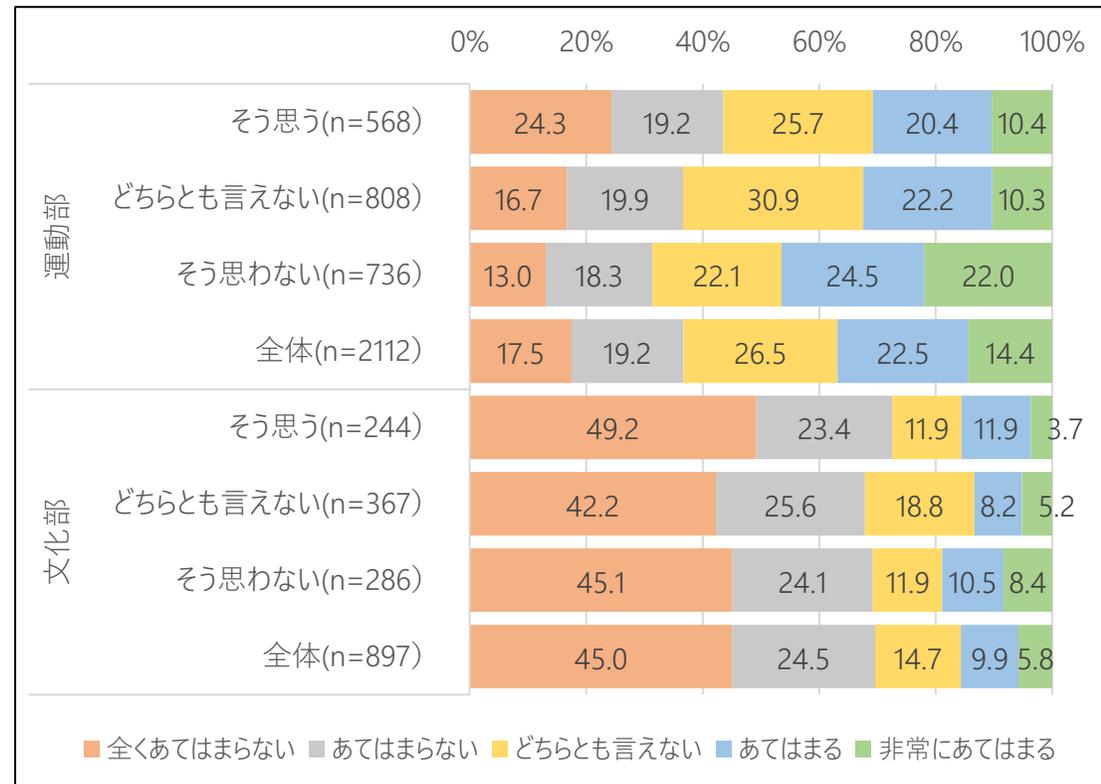


## 生徒調査

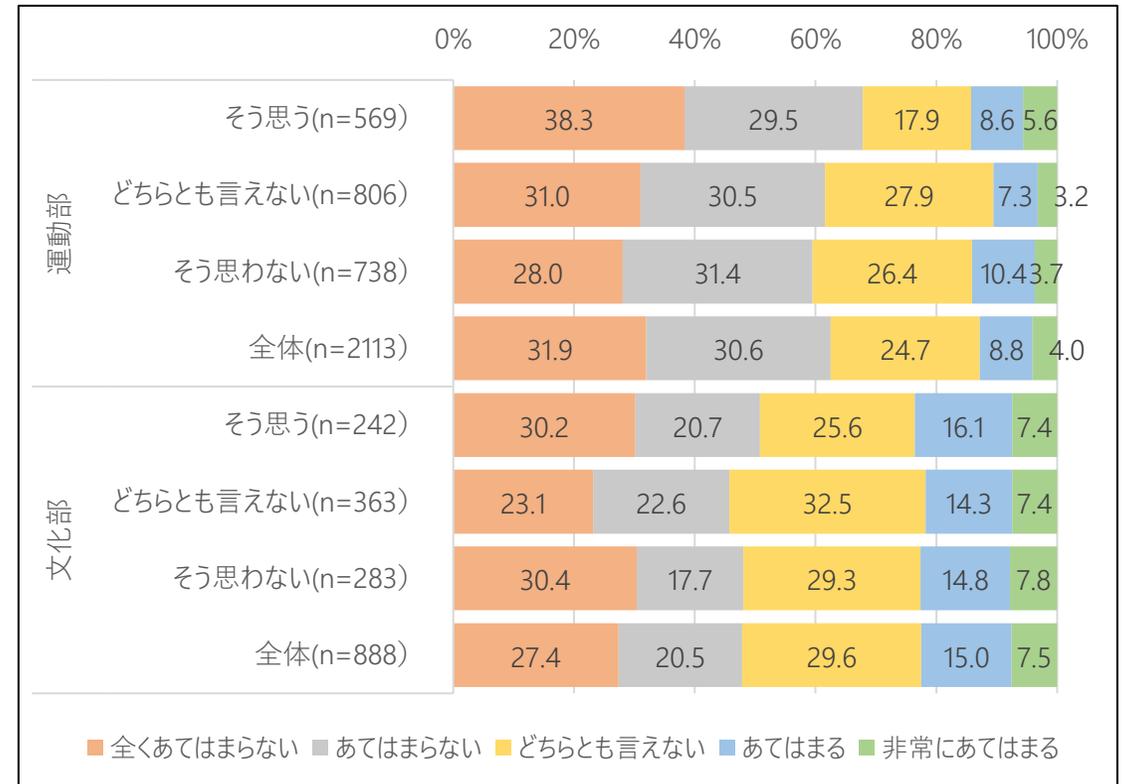
## 活動を活かした進学意図と部活動における悩みのクロス集計

- 「現在取り組んでいる活動（部活動／学外活動）で得た成績や実績を生かして、高校や大学に進学したい」に対して「そう思わない」（生かす意図はない）と回答した運動部の生徒のうち、「1週間当たりの休みの日が少ない」ことについて「あてはまる」「非常にあてはまる」と回答した割合は46.5%であった。
- 同じく、活動を活かした進学意図と「試合や発表の機会が少ない」の回答傾向では、運動部に比べ、文化部の方が「あてはまる」「非常にあてはまる」の回答が多い傾向にある。

「イ. 1週間当たりの休みの日が少ない」とのクロス集計



「セ. 試合や発表の機会が少ない」とのクロス集計

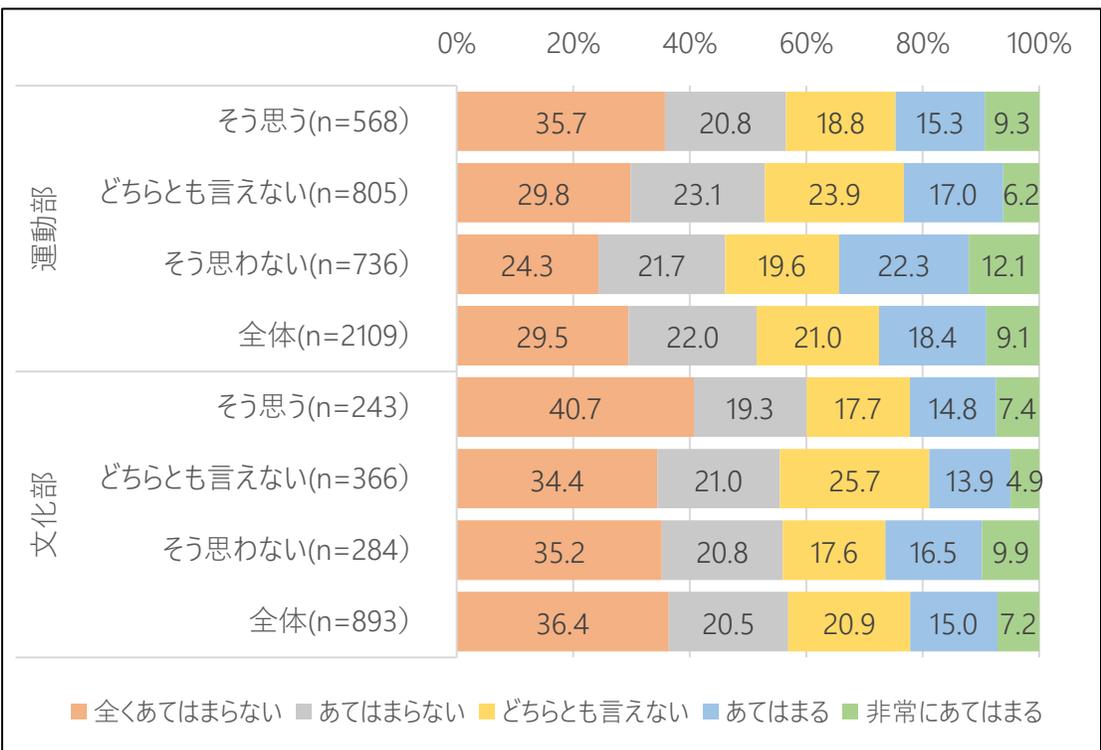


### 生徒調査

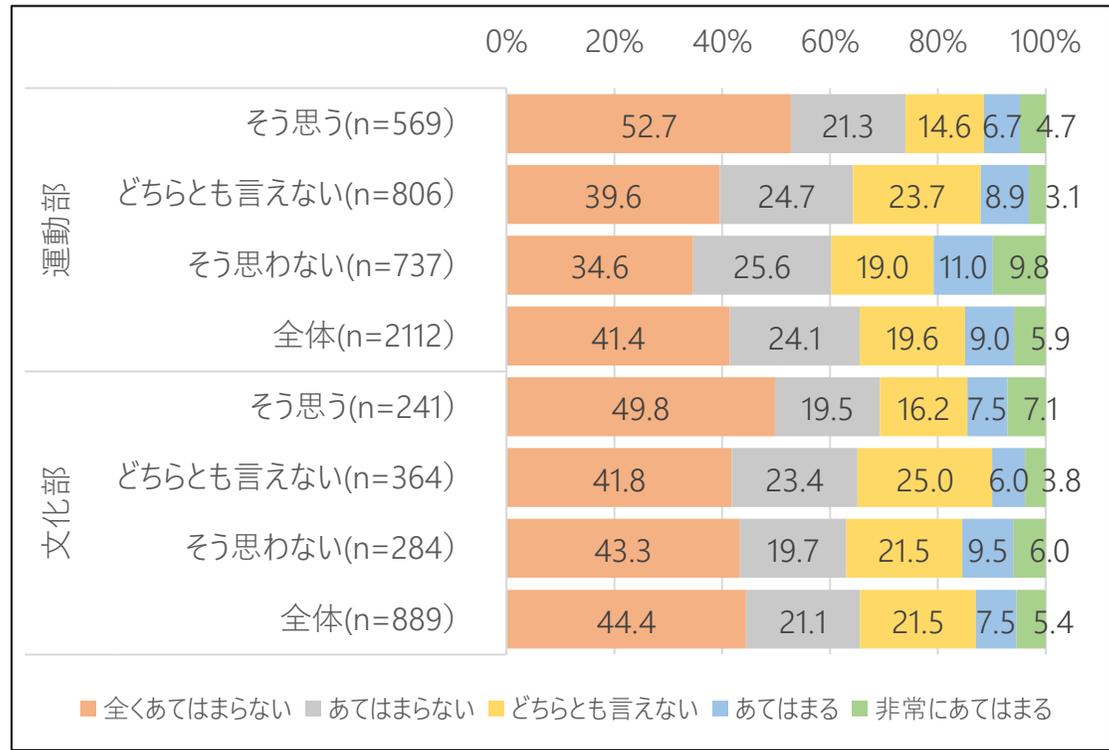
# 活動を活かした進学意図と部活動における悩みのクロス集計

- 「現在取り組んでいる活動（部活動／学外活動）で得た成績や実績を生かして、高校や大学に進学したい」に対して「そう思わない」と回答した生徒のうち、「現在取り組んでいる活動以外に活動してみたい種目がある」の「あてはまる」「非常にあてはまる」の回答は、運動部では35.4%、文化部では26.4%であった。
- 活動を活かした進学意図に対して「そう思わない」と回答した生徒のうち、「学年ごと、季節ごとに他の種目の活動に変更してみたい」の「あてはまる」「非常にあてはまる」の回答は、運動部では20.8%、文化部では15.5%であった。

「ツ. 現在取り組んでいる活動以外に活動してみたい種目がある」とのクロス集計

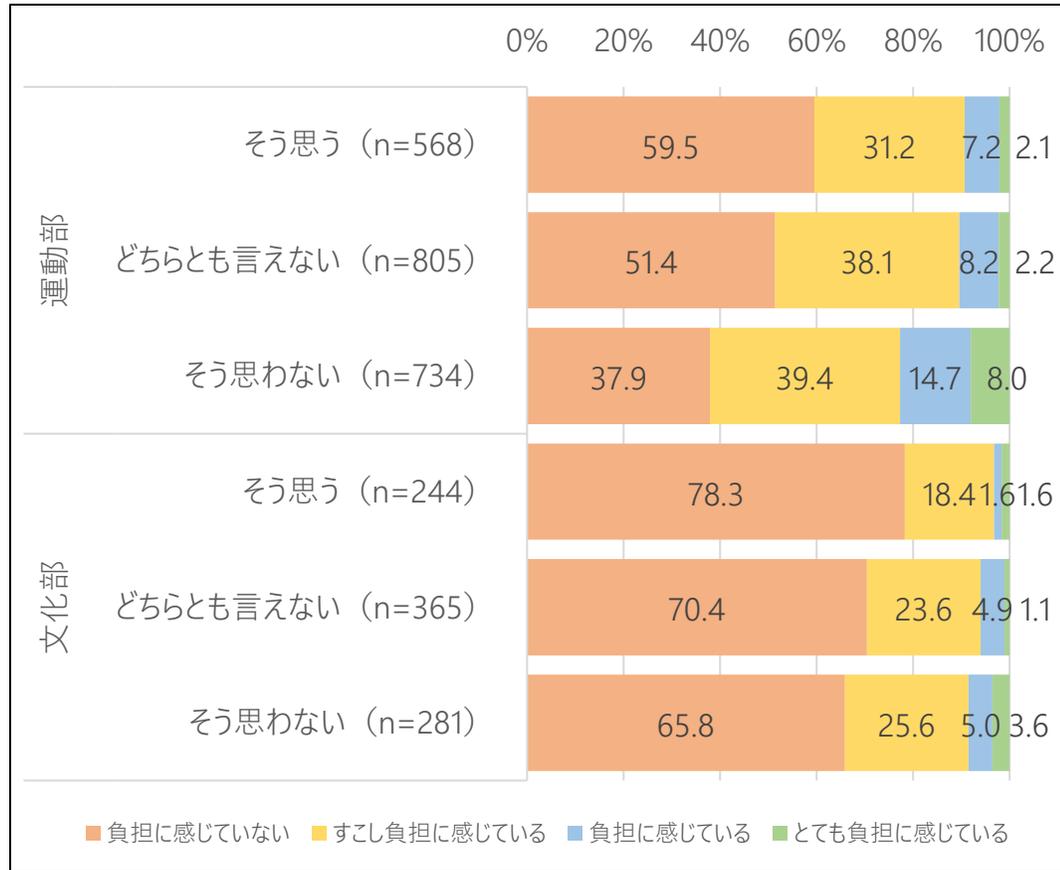


「テ. 学年ごと、季節ごとに他の種目の活動に変更してみたい」とのクロス集計



## 生徒調査

## 活動を活かした進学意図と負担感のクロス集計



- 運動部では、「現在取り組んでいる活動（部活動／学外活動）で得た成績や実績を生かして、高校や大学に進学したい」に対して「そう思う」と回答した生徒のうち、「負担に感じていない」と回答したのは59.6%であるのに対し、活動を活かした進学意図に「そう思わない」と回答した生徒のうち「負担に感じていない」と回答したのは37.9%であった。
- 文化部では、活動を活かした進学意図のいずれの回答においても「負担に感じていない」の回答は65%を超える。全体的に運動部と比較し、部活動に負担感を有する生徒は、文化部の方が少ない傾向にある。